

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来Kazaoka津島		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 4日		～ R6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R6年 10月 4日		～ R6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 11月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用人数が多いことから子どもの多様性を感じることが出来ま す	活動をいくつかの小グループに分けて実施し、個々の特性を発 揮しやすいような支援を実施しています	個別な関わりなどを増やす環境を作り、より子供の特性を理 解することで成長・発達を促していきます
2	専門職が在籍している	専門的な視点からの考え方や支援方法などを職員間で共有して います	職員間で勉強会や外部から講師を招き研修会などを実施して いきます
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数に対して部屋の大きさが満足とは考えておらず、家族 の方などが一緒に参加する機会などを設定することが難しい現 状です	家族との協力関係を高めるために個別に連携を深めていく関わり は実施していますが、家族同士の関わりを持つ機会(イベン ト)などを準備することが出来ていません。立地や広さなど条 件に合う場所を探していきたいと思えます	家族のニーズなどを把握し、目的や不安の種類によつて的確 な支援を実施できるよう職員で情報共有を進めていきたいと 思います
2	事業所で行っている支援の様子が理解されにくい	保護者へHUGを利用して利用した当日の記録を伝えては いますが、支援時の声掛けや促し方など細かな部分は文章や写真のみ では伝えることが出来ないと考えています	保護者の方を事業所に招き実際の支援の場面などを見学して もらうことや、動画で記録して紹介するなどわかりやすい方 法を模索していきます
3			